

三郷市立新和小学校

高学年部会

主題名 誠実な生き方 【内容項目 A 正直、誠実】
教材名 「手品師」 (「みんなの道徳」学研教育みらい)



板書を効果的に使った課題提示



「心のものさし」を活用したペアでの話し合い



自己を見つめ考えを深める書く活動



主体的な学習にするための「道徳ノート」

1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

【私の授業の観てほしいポイント】

- ①話し合う活動について
- ②書く活動について

【授業についての感想等】

- 終末で急ぎすぎてしまった。
- 「誠実」について、生きていく上で、自分の心に誠実である、ということも大切になる場面があるのではないかと考えた。



2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

【①のポイントについて】

- 道徳授業の組み立て方が素晴らしかった。
- 「心のものさし」は、2つの洗濯ばさみで心の変化が分かる仕組みであった。子供達同士でも見て分かるのがよかった。リンクした構造的な板書により話し合いやすかった。
- 「心のものさし」で両端にある子にそうなった理由を聞いていってもよかったのではないかと。



【②のポイントについて】

- 心の変容が視覚化できるノートがよかった。
- メモするのは、自分のことを振り返ることができるので効果的であった。

3 指導講評

- 学級経営が素晴らしい。互いの考えを聞き合い、認め合う雰囲気があった。
- 児童が主体的に学ぶためには、課題意識をもたせ、自分との関わりで捉えることが大切。導入や発問の工夫により、児童は意欲的に学んでいた。
- 「心のものさし」は、児童全員が主体的に学ぶ手立てとなった。意図的指名ができるよさがある。
- 少人数グループでの話し合いのルールがしっかりと身に付いている。共に語り合うためには、まず自分の考えをもつことが必要。自分の考えと似ている点、異なる点等、多様な考えに触れさせたい。少人数で話し合うことが有効な発問かどうか検討することも大切。
- 役割演技をペアで交代することで、異なる考え方に触れることができた。
- 学習を通して、自ら納得できる考えを導き出し、生き方への希望がもてるようにしたい。

